

令和3（2021）年度 事業報告

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う2度の緊急事態宣言が発令され、4月下旬からは約2か月の臨時休館を余儀なくされるなど、前年度に引き続いて社会を取り巻く情勢に館の運営が大きく左右される年度となった。小中学校の来館は、宣言解除となった10月以降、1月下旬にまん延防止等重点措置が適用となるまでは、校外学習での来館が大きく伸び、大阪府内公立小中学校来館校数は230校（前年度：163校）と、前年度を約4割上回った。アンケートによる学校満足度（平和学習到達度）は、93.4%であった。一般の入館者数は、概ね学校の来館と同じような傾向をたどり、入館者総数は35,163人（前年度：28,088人）となった。

また、新型コロナウイルスの流行による様々な制限がある中、徹底した感染対策を取りながら、当館の開館30周年にあたる節目の年度にふさわしい企画事業等を実施し、9月には約10年ぶりに刻の庭の大阪空襲死没者名簿の銘板更新を行った。

来館者サービスとしては、7月にはスマートフォンを活用した展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」の運用を開始するとともに、来館小中学校の8割近くが鑑賞している定時映画の新作アニメ制作や証言映像アーカイブ作成に着手した。さらに、寄贈された千羽鶴寄贈台の増設や、施設の快適性確保のためトイレなどの施設改修を行った。

これらのほか、前年度に引き続き、図書や寄贈資料の整理などを計画的にすすめ、また、教員等の平和・人権研修や公共的団体のセミナー開催による講堂、会議室の有効活用や、夏休み期間を利用した大阪市立小学校の児童絵画・版画展の誘致を行った。

1. 展示事業

(1) 常設展示

必要に応じて、適宜、アップデートに努めた。

2階展示室

Aゾーン：昭和20年、大阪は焼き尽くされた

Bゾーン：世界中が戦争をしていた時代

Cゾーン：戦時下の大阪の暮らし

スロープ

空襲体験者の「証言と体験画の回廊」

1階展示室

Dゾーン：多くの犠牲を出し、焼け野原になった大阪

3階展示室

Eゾーン：たくましく生きる大阪

Fゾーン：私たちの未来をつくっていくために

映像コーナー

図書室

映画の定時上映（講堂）

(2) 特別展示

所蔵資料の活用や関係機関・団体の協力を得ながら実施した。

①「ピースおおさか収蔵品展 2021～時代を語る資料たち～」

＜趣 旨＞ 2020（令和 2）年度に寄贈された資料の一部を紹介し、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会とした。

＜期 間＞ 4月17日（土）～7月18日（日）

※新型コロナウイルス流行に伴い4月25日～6月21日は臨時休館。

＜内 容＞ 収蔵品 約80点

＜参加者＞ 2,676名

②開館30周年記念特別展「どうぶつのいのちとへいわ ～戦時下の天王寺動物園とこれからの未来～」

＜趣 旨＞ 天王寺動物園の歴史を背景に、過去の悲劇、そして現在の動物を取り巻く環境と野生動物を守るために行われている動物園での取り組みなどを紹介した。（協力：地方独立行政法人天王寺動物園）

＜期 間＞ 9月1日（水）～3月30日（水）

＜内 容＞ 写真解説パネル展示など

＜参加者＞ 27,757名

(3) その他の展示

いのちへのメッセージ、学校から寄贈された千羽鶴

(4) ワークショップスペース(3階)の有効活用

学校と連携した平和学習に関する資料の展示など有効活用を図った。

2. 企画事業

アンケート結果も踏まえつつ、当館の発信力を強化し、魅力ある事業の展開に努めた。

(1) 平和祈念事業

終戦、開戦、大阪大空襲など節目の時期に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会として、多様なイベントを開催した。

① 終戦の日平和祈念事業

＜実施日＞ 8月15日（日） 午後2時～午後3時

「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

・内 容：黙とうと平和コンサート（協力：学校法人相愛学園）

相愛中学校・相愛高等学校音楽科生徒による合唱

相愛大学大学院音楽研究科生と修了生による演奏

・参加者：98名

② 開館30周年平和祈念事業

＜実施日＞ 9月12日（日） 午後1時30分～午後2時

「開館30周年平和祈念事業 記念式典」

・内 容：来賓挨拶、メッセージ紹介、献花（刻の庭）

・参加者：来賓、「刻の庭」銘板追加者の遺族など

＜実施日＞ 9月12日（日） 午後2時30分～午後4時

「開館30周年平和祈念事業」

・内容：講演会および平和コンサート

【第1部】講演会「ピースおおさか 30年のあゆみ」

講演者：橋爪紳也（ピースおおさか 展示アドバイザー委員）

【第2部】相愛大学大学院音楽研究科生・修了生による平和コンサート

・参加者：110名

③ 開戦80周年平和祈念事業

＜実施日＞ 12月5日（日） 午後2時～午後4時

「落語と平和 ～ピースおおさか平和寄席～」

・出演者：桂春団治、桂花団治、桂咲之輔、笑福亭大智、はやしや都美礼（三味線）

・参加者：138名

④ 大阪大空襲平和祈念事業

＜実施日＞ 3月13日（日） 午後2時～午後3時30分

講演会「どうぶつのいのちをつなぐ ー天王寺動物園の新しい役割ー」

・講演者：井出貴彦（天王寺動物園 動物専門員）

・参加者：105名（会場参加者83名、ZOOM参加者22名）

(2) ウィークエンド・シネマ

・日時：毎週土曜日 午後2時～

※新型コロナウイルス流行に伴う休館により5月～6月19日までは中止。

・内容：所蔵視聴覚資料（DVD）を上映。今年度は開館30周年を記念した上映リクエストアンケートを実施し、上位作品の上映も行った。

・参加者：3,068名

(3) 親子まつり

夏休み、冬休み、春休み期間にアニメ映画の上映等を行った。

① ゴールデンウィーク

・日時：4月25日（日）～5月5日（水） 午後2時～

※新型コロナウイルス流行に伴う休館により中止。

② 夏休み

・日時：7月23日（金）～8月22日（日） 午後2時～

・内容：アニメ「ひめゆり」等の上映

・参加者：247名

③ 春休み

開館30周年記念特別展「どうぶつのいのちとへいわ ～戦時下の天王寺動物園とこれからの未来～」関連イベントとして実施。

・日時：3月20日（日）～3月30日（水） 午後2時～

・内容：青空みかんさんによる平和紙芝居、「ながさきの子うま」の上映

・参加者：55名

(4) 府政学習会（大阪府府政情報室との連携事業）（今年度は参加団体なし）

3. 館外利用事業

当館のアウトリーチ活動として、館外利用の促進に取り組んだ。

(1) 出前展示

パネル・実物資料の展示、ピースおおさか紹介ビデオの放映、パンフレットの配布等を実施し、将来の来館につながるよう、展示内容の工夫や実施場所の開拓等に努めた。

① 大阪市立大正図書館 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

② 天王寺動物園

・日 時：7月27日（火）～8月29日（日）

・場 所：天王寺動物園

・内 容：写真パネル、実物資料の展示

・参加者：約7,000名

③ 大阪市立総合生涯学習センター

・日 時：7月28日（水）～8月10日（火）

・場 所：大阪市立総合生涯学習センター ギャラリーA

・内 容：写真パネル、実物資料の展示

・参加者：多数来場

④ 大阪市立島之内図書館

・日 時：9月1日（水）～9月30日（木）

・場 所：大阪市立島之内図書館

・内 容：実物資料などの展示

・参加者：9,678名

⑤ 大阪市立淀川図書館

・日 時：10月22日（金）～11月17日（水）

・場 所：大阪市立淀川図書館

・内 容：実物資料の展示

・参加者：5,715名

⑥ 人権平和センター豊中

・日 時：11月11日（木）～12月22日（水）

・場 所：人権平和センター豊中 平和展示室

・内 容：空襲体験画などの展示

・参加者：340名

⑦ 大阪府立中央図書館

・日 時：12月1日（水）～12月16日（木）

・場 所：大阪府立中央図書館

・内 容：写真パネル、実物資料の展示

・参加者：18,109名

⑧ 大阪市立都島図書館

- ・日 時：12月1日（水）～12月23日（木）
- ・場 所：大阪市立都島図書館
- ・内 容：実物資料の展示
- ・参加者：9,401名

⑨ 大阪市立中央図書館

- ・日 時：1月7日（金）～2月2日（水）
- ・場 所：大阪市立中央図書館
- ・内 容：写真パネル、実物資料の展示
- ・参加者：73,000名

(2) 「平和学習協力者」の派遣（紹介）

学校等からの派遣依頼に対し、「平和学習協力者」（語り部や平和紙芝居演者等）の紹介を行った。

- ・紹介件数：65件

(3) 平和学習資料の貸出し

学校、官公署、市民団体等の要請に応じ、平和学習用資料（写真パネル、空襲体験画、ビデオ、DVD等）の貸し出しを行った。

資料の充実に努めるとともに、特に遠方の学校等については、来館に代わる平和啓発活動の一環として広報に努めた。

- ・貸出件数：253件（利用人数 98,743人）
（小学校 114件、中学校 61件、自治体 32件、その他 46件）
- ・貸出資料種別（延べ 295件）
（ビデオ 8件、DVD 199件、紙芝居 17件、パネル 47件、体験画 10件、
実物資料 14件）

4. その他の事業

(1) 特別展「生と死の間で ホロコーストとユダヤ人救済の物語」

（共催：European Network Remembrance and Solidarity（記憶と連帯の欧州ネットワーク）、協力：ピースおおさか）

- ・内 容：2020年度にピースおおさかで行った特別展を各施設主催で実施

① 神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）

- ・日 時：6月26日（土）～8月29日（日）
- ・場 所：あーすぷらざ5階 国際平和展示室

② 人道の港 敦賀ムゼウム

- ・日 時：11月3日（水）～1月31日（月）
- ・場 所：人道の港 敦賀ムゼウム 企画展示室

(2) 「ミュージアム干支アワード 2022」（インターネットミュージアム主催）

- ・日 時：12月14日（火）午後3時～1月27日（木）午後3時
- ・内 容：その年の干支が入っている館蔵品を紹介するとともに投票を行う企画。

特別展に展示していた「虎の絵が描かれた千人針」で参加した。

(投票結果は全 93 館中 第 5 位)

(3) 「大阪市児童絵画・版画作品展」(大阪市小学校教育研究会図画工作部主催)

- ・日 時：7 月 31 日(土)～8 月 15 日(日)
- ・内 容：各学校から 2 枚ずつ選定された作品を特別展示室に展示(計 548 点)
- ・参加者：展示作品の児童父兄等約 1,100 名

(4) 生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2021

(生きた建築ミュージアム大阪実行委員会への協力)

- ・日 時：10 月 30 日(土)～31 日(日)
- ・内 容：インターネット上でのプログラムを中心に開催
- ・対象施設数：153 施設

(5) 講堂・会議室の利用

府内の自治体(教育委員会含む)や公共的団体等が講堂や会議室にて平和・人権に関する研修会等を行う場合に、各団体の申請により施設の使用を許可し、あわせて使用料等を免除することとして施設の有効活用を図った。

- ・使用許可件数：21 件(うち 3 件が新型コロナウイルスの影響で中止)

<主な利用例>

①「ユニセフシアター」(共催：大阪ユニセフ協会、大阪暁光高等学校)

- ・日 時：11 月 3 日(水) 午後 1 時～4 時
- ・内 容：世界の子どもシリーズ上映会「風をつかまえた少年」を上映
- ・参加者：75 名

②「SDGs Workshop」(大阪ユネスコ協会主催)

- ・日 時：7 月 10 日(土) 午後 1 時～4 時
- ・内 容：世界遺産にみる多文化共生と平和

ZOOM によるオンラインでネパール、ベトナム、中国等と中継

③大阪府教員初任者研修

- ・日 時：11 月 16 日(火)、18 日(木)、30 日(火)、12 月 2 日(木)、3 日(金)
- ・参加者：約 1,100 名

5. 「刻の庭」の管理運営

大阪空襲死没者の追悼及び恒久平和を祈念するため、2005(平成 17)年度に整備した「刻の庭」の管理運営を行った。今年度は「刻の庭」の銘板更新を実施した。

大阪空襲死没者名簿の管理、新規登録申出の受付等を行った。

<「刻の庭」の銘板更新>

- ・新規追加数：101 名
- ・訂正による追加数：13 名
- ・訂正による削除数：41 名
- ・「刻の庭」の銘板登録者数計：9,089 名(令和 3 年 9 月現在)

<空襲死没者名簿(原簿)の管理>

- ・追加登録者数：7 名

- ・名簿の訂正：6名
- ・登載者数計：9,143名（令和4年3月31日現在）
（内訳）公開 9,095名（刻の庭前で公開）、非公開 48名

6. 資料の収集・提供

実物資料、視聴覚資料、図書資料の適切な収集と管理に努め、展示及び貸出資料への利活用を図るとともに、「収蔵品管理システム」により資料の整理、保存等を行った。また、戦争体験者5名の証言映像撮影を行ったほか、新作アニメの制作のための準備を進めた。

資料収集件数		単位：点	
	寄贈資料	購入資料	製作資料
実物資料	28	0	0
視聴覚資料	31	63	1
文書資料	15	0	0
図書資料	64	69	0
計	138	132	1

2022（令和4）年3月末の資料収集件数（収蔵検索システム登録件数）

- ・物品：11,161点
（実物 4,758点、文書 1,960点、視聴覚 4,278点、その他 165点）
- ・図書：34,465点
合計：45,626点

7. 広報・啓発

(1) ホームページの運営

ホームページにより施設利用案内や事業広報等の情報提供を行うとともに、ホームページの更なる充実について検討を行った。

来館誘導の強化を図るため、SNSで情報発信を行った。

- ・アクセス数：89,538回（うち、日本は86,119回）

(2) 印刷物の作成・配布

リーフレット「展示のしおり」の配布に加え、各種企画事業のチラシやポスターを適宜作成、配布するとともに、館報「ピースおおさか」を発行した。

(3) 学校等に対する多様な媒体を活用した広報

学校、関係組織等へのダイレクトメールの送付などに取り組んだ。

府市、中核市の教育委員会等（小中学校校長会、人権担当者会議を含む）に対して、校外学習での当館への来館や貸出資料の利用を促した。

8. 来館者サービスの向上

スマートフォンを活用した展示ガイダンスアプリ（ポケット学芸員）を導入した。

アンケート結果も踏まえて、来館者のサービス向上に取り組んだ。

なお、今年度の入館者総合満足度は94.9%、学校満足度（平和学習到達度）は93.4%であった。

9. 自主財源（平和寄金）の確保

あらゆる機会等を通じて、平和寄金の趣旨（企画事業・特別展示等の原資）と寄附に係る税の優遇措置を説明し協力を求めた。なお、今年度の平和寄金収入は1,250,035円であった。

「ピースおおさか友の会」会員の新規拡大に努めた。

＜「ピースおおさか友の会」入会状況＞

- ・個人会員：58名
- ・団体会員：6団体

10. 効率・効果的な事業の実施

企画事業の充実を図り、収蔵品など既存ストックの有効活用に努めつつ、効率・効果的な事業実施等を行った。

運営コストの抑制に努めるため、配布チラシの種類や配布先の検証などを行うとともに、業務の効率化を図った。

府市と入館者増に向けた取組み状況・課題を整理するため、適宜、「集客等ワーキング」などを開催した。

11. 施設の保全・補修

ピースおおさかの長寿命化及び安全性・快適性の確保を図るため、平成28年度に作成した「施設修繕計画」（平成29年度から10年間）に基づき、補修工事を計画的に実施するとともに、引き続き必要な予算措置を府市に要請した。

＜主な実施内容＞3階トイレ改修、館内照明設備のLED化等